

# 同伴者向け

## はじめて九州国立博物館に行く人のための あんしんガイド



九州国立博物館に 行きます。

九州国立博物館は 「きゅーはく」とも 呼ばれています。

行く前に これを 読めば はじめて きゅーはくに  
行くときも 安心です。

1

このガイドは、主に発達障がいの方と同伴者をサポートするガイドです。  
見通しを立てて、安心して来館していただくことを目的としています。

このオレンジの〔 〕内に、同伴者向けの情報を記載しています。

光や音などに敏感な人のための「あんしんマップ」(P.24) も公開しています。



九州国立博物館

だざいふてんまぐう 太宰府天満宮から 行くには



トンネルの入口



トンネルの中

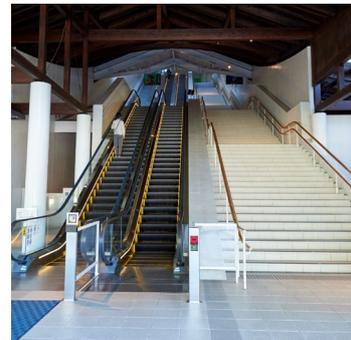
だざいふてんまぐう 太宰府天満宮から きゅうはいはくに 行くには  
なが 長い トンネルを とお 通ります。

トンネルの 中は 暗いけど  
いろいろな 色の 光が つぎ つぎ あらわ  
まるで タイムスリップしているみたいです。

トンネルを 出ると おお 大きな 建物が 見えます。  
きゅうしゅうこくりつはくぶつかん 九州国立博物館、きゅうはいはくです。

トンネルを入るとすぐ、斜行エレベーター、エスカレーター、階段があります。

一番上まで上ると、動く歩道があります。  
歩いていくこともできます。



きゅうはくの <sup>ちゅうしゃじょう</sup> 駐車場から <sup>い</sup> 行くには



<sup>ちゅうしゃじょう</sup> 駐車場から <sup>いりぐち</sup> 入口に <sup>む</sup> 向かって <sup>ある</sup> 歩きます。

ガラスの <sup>か</sup> べで <sup>できた</sup> 大きな <sup>おお</sup> 建物 <sup>たてもの</sup> が  
<sup>きゅうしゅうこくりつはくぶつかん</sup> 九州国立博物館、きゅうはくです。

ガラスには <sup>もり</sup> 森が <sup>うつ</sup> 映って <sup>きれい</sup> きれいです。

3

入口の近くには、身体障害者用駐車場、団体用バス駐車場があります。

ゲートで警備スタッフが案内します。タクシーの乗り降りもできます。

駐車料金：送迎のみ、30分以内は無料。

障害者手帳等を持ってきた人は無料。

車 500円 マイクロバス 1,300円 大型バス 2,000円

※1回の利用で計算します。

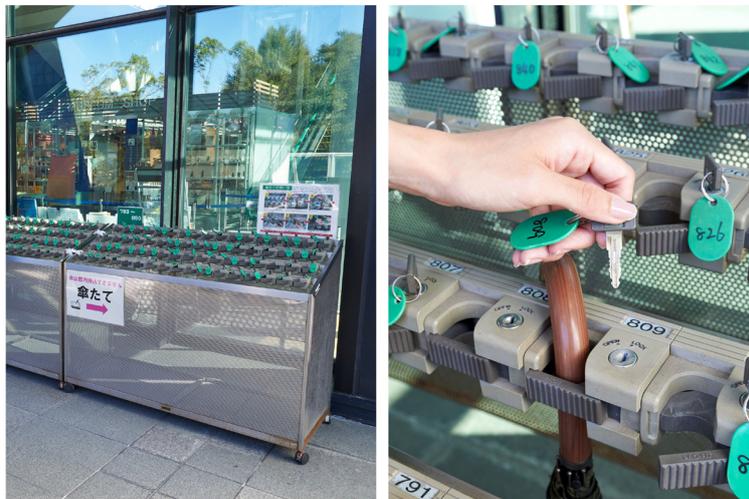
※バスは、乗っている人の3分の1以上が障害者手帳等を持っている場合、駐車料金が無料になります。

支払い：現金のみ。お札は1,000円札のみ。1階の観覧券売場横にある事前  
精算機、または、ゲート。



駐車料金

## かさを あずけます



かさを <sup>も</sup> 持っていたら  
<sup>はくぶつかん</sup> 博物館に <sup>はい</sup> 入る前に <sup>かさたて</sup> にかさ立てに <sup>い</sup> 入れます。

かさを <sup>い</sup> 入れたら <sup>かぎ</sup> を <sup>と</sup> 取ります。  
かぎは <sup>なくさない</sup> ようにします。

かさを <sup>も</sup> 持って <sup>はい</sup> 入ると  
<sup>みず</sup> 水や <sup>かさ</sup> かの <sup>さき</sup> 先で <sup>さくひん</sup> 作品を <sup>きずつ</sup> けてしまうことが  
あるからです。

4

かさ立ては、無料です。

杖やイヤーマフなどは、持って入ることができます。

補助犬も、一緒に入ることができます。

た  
食べものや ペットボトルは カバンの  
なか い  
中に 入れます



た の むし だいこうぶつ  
食べものや 飲みものは 虫の 大好物です。  
むし だいじ さくひん た  
虫は 大事な 作品も 食べてしまいます。

むし こ た  
虫が 来ないように 食べものや ペットボトルは  
カバンの なか い  
中に 入れます。

5

飲食は外にある椅子やベンチなどでできます。

館内で食べたい時は、研修室を使うことができます。（事前予約、有料）

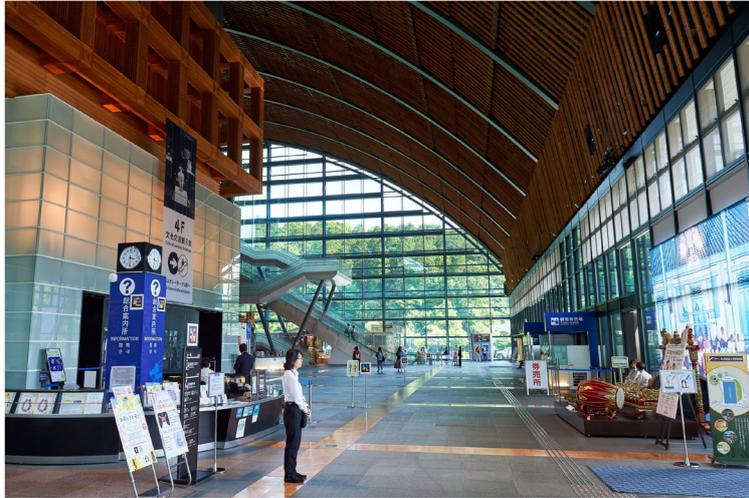
博物館の外にあるレストハウスには、テーブルと椅子のほか、自動販売機、トイレ、オストメイト対応の多目的トイレ、補助犬トイレもあります。

詳しくはP.23をご覧ください。



外にあるレストハウス

きゅーはくの <sup>なか</sup>中に <sup>はい</sup>入ります



スタッフが <sup>いりぐち</sup>入口で <sup>むかえて</sup>くれます。

<sup>なか</sup>中は <sup>ひろ</sup>とても <sup>ひろく</sup>広がって

<sup>てんじょう</sup>天井も <sup>たか</sup>とても <sup>たか</sup>高いです。

<sup>ひと</sup>人が <sup>たくさん</sup>たくさん <sup>いる</sup>いることも <sup>ある</sup>あるので

いっしょに <sup>き</sup>来た人の <sup>そば</sup>そばに <sup>いる</sup>いと <sup>あんしん</sup>安心です。

6

1階は無料のエリアです。(3階、4階の展示室の料金はP.12参照)

フリーWi-Fi「Kyuhaku\_Free\_Wi-Fi」が使えます。



観覧券売場や、イベントなどをするミュージアムホール、

エントランスホールがあるため、混雑していることがあります。

Wi-Fi 利用方法

閉館時に館内アナウンスがあります。通常は午後4時30分と午後5時です。

夜間開館中は、午後7時30分と午後8時です。呼び出しは行っていません。

6

## トイレに 行きます



1階 あじっば近くの トイレ(介助ベッド付き)

1階 総合案内近くの トイレ(オストメイト付き)

トイレに 行きたくになったら 近くの トイレに 行きます。

トイレは どの階にも あります。

数が 多いのは 1階です。

介助ベッドやオストメイトがある

広いトイレ (多目的トイレ) も あります。

多目的トイレは、車椅子の利用者、親子連れ、オストメイト、高齢者の方など多様な人が利用できるトイレです。

介助用ベッドは1階総合案内近くの多目的トイレにあります。

オストメイトに対応していない多目的トイレもあります。

また、音声案内がある多目的トイレもあります。

詳しくは、「あんしんマップ」に載っています。

## カバンや コートなどを あずけます



コインロッカー

手荷物預かり所(クローク)

コインロッカーか 手荷物預かり所 (クローク) に  
荷物を あずければ 軽くなって 動きやすいです。

コインロッカーは 100円玉を 入れて かぎを かけます。  
手荷物預かり所 (クローク) は スタッフに 荷物を  
あずけて ふだを もらいます。

帰るまで かぎや ふだを なくさないようにします。

8

コインロッカーは、1階と3階にあります。ロッカーの数は1階が多いです。

使った100円玉は戻ってきます。

コインロッカーに入らない大きな荷物は、1階の手荷物預かり所 (クローク) で預けてください。無料です。

## わからないことは スタッフに き 聞きます



スタッフ

ボランティアスタッフ

けいび  
警備スタッフ

きゅーはくでは いろんな スタッフが はたらいています。

うけつけ てんじしつ なか 受付け 展示室の中に いる スタッフ (あお 青いストラップ)

あんない ボランティアスタッフ (きいろ 黄色いストラップ)

けいび 警備スタッフ (ぼうしを かぶっています) などです。

わからないことや こまったことが あったら

スタッフに き  
聞きます。

よろこんで てっだ  
手伝ってくれます。

9

青いストラップのスタッフ (写真左) が館内に多くいます。  
案内や誘導、展示室の監視などを行っています。

ボランティアスタッフ (写真中央) は館内や展示室の案内などを行っています。  
手話ができるボランティアスタッフもいます。

必要なときは事前に連絡してください。

問い合わせ先：九州国立博物館 交流課

電話：092-929-3289



ボランティア

## あじっぱで <sup>あそ</sup>遊びます



あじっぱ



インドネシアの <sup>あそ</sup>ゲームで <sup>あそ</sup>遊ぶ



韓国 <sup>かんこく</sup>のおちゃわんと <sup>あそ</sup>おはしで <sup>あそ</sup>遊ぶ

あじっぱとは 「アジアの はらっぱ」という <sup>いみ</sup>意味です。

いろいろな国 <sup>くに</sup>のおもちゃや <sup>どうぐ</sup>道具で <sup>あそ</sup>遊ぶことが <sup>あそ</sup>できます。  
コマや <sup>あそ</sup>ゲーム、パズルなど <sup>あそ</sup>たくさん <sup>あそ</sup>あります。

<sup>いりぐち</sup>入口で <sup>あそ</sup>くつを <sup>なか</sup>ぬいで <sup>はい</sup>中に <sup>あそ</sup>入ります。

<sup>かね</sup>お金は <sup>あそ</sup>いりません。

### おすすめ！

子どもも、大人も楽しめる体験型展示室です。  
混雑していたり、楽器の音が大きかったりすることがあります。  
混雑しているときは、入場を制限することもあります。

あじっぱの近くには、静かな休憩所があります。(P.19参照)  
詳しい場所は「あんしんマップ」に載っています。



あじっぱ



かみ ぼうし つく  
紙の 帽子を 作る



たけ できた がっき な  
竹で できた 楽器を 鳴らす



がいこく ふく き  
外国の 服を 着る

あじっばでは ぬりえや <sup>こうさく</sup> 工作も できます。

スタッフに <sup>き</sup> 聞くと <sup>なに</sup> 何が できるか <sup>おし</sup> 教えてくれます。

つく <sup>おも</sup> 作ったものは <sup>で</sup> 思い出に <sup>も</sup> 持って <sup>かえ</sup> 帰ることが できます。

<sup>たけ</sup> 竹や <sup>きんぞく</sup> 金属で <sup>がっき</sup> できた 楽器を <sup>な</sup> 鳴らすと <sup>おと</sup> いろんな 音が  
します。

<sup>ほか</sup> 他人が <sup>つか</sup> 使っていたら <sup>お</sup> 終わるまで <sup>ま</sup> 待ちます。

<sup>あそ</sup> 遊び終わったら <sup>お</sup> もとの <sup>ばしょ</sup> 場所に <sup>もど</sup> します。

「BOXキット」コーナーでぬりえや工作などを選びます。

常時10種類以上あります。

民族衣装などの体験もできます。(時期によってできないこともあります)



てんじ　　み　　うえ　　かい　　い  
展示を　見るには　上の階に　行きます



エスカレーター

エレベーター

かいだん  
階段

うえ　かい　　い　　かた  
上の階への　行き方は　3つ　あります。

なが  
長い　エスカレーター、スケスケの　エレベーター、  
かいだん  
階段です。

とくべつてんじしつ　　かい  
特別展示室は　3階です。

いろいろな　テーマで　みじか　あいだ　てんじ  
短い間だけ　展示をしています。

ぶん　かこうりゆうてんじしつ　　かい　　いちばんうえ　　かい  
文化交流展示室は　4階、一番上の　階です。

きょう　　い  
今日は　ここに　行きます。

上の階に行くエスカレーターは2つあります。

スタッフが案内します。

3階の特別展開催中や団体がいるときは、混雑していることがあります。

ぶん かこうりゅうてんじしつ はい  
文化交流展示室に 入ります



おおむかし どうぶつ しょくぶつ を とって せいかつ じだい から  
大昔、動物や 植物を とって 生活をしていた 時代から  
およそ 200年前の 江戸時代までに 使われていたものを  
み 見ることが できます。

こうこうせい い か むりょう います い ぐち スタッフに ねん 年れいが  
高校生以下は 無料です。入り口で スタッフに 年れいが  
わかるものを み 見せます。

てんじしつ なか くら  
展示室の 中は 暗いです。

ひかり よわ さくひん まも  
光に 弱い 作品を 守るためです。

14

「年齢がわかるもの」は、保険証や障害者手帳等の身分証明書です。

一旦展示室の外に出るときはスタッフに言ってください。スタッフがチケットに再入場用のスタンプを押します。障害者手帳等で入場の方には再入場用の紙を渡します。

携帯電話はマナーモードに設定し、通話は展示室の外でお願いします。  
出入口付近は、混雑していることがあります。

てんじしつ  
展示室では ルールを まも  
守ります



てんじしつ はし ある  
展示室では 走らずに 歩きます。

ほか ひと さくひん  
他の人や 作品に ぶつかって  
けがを するかもしれないからです。



さくひん  
作品には さわりません。

さわって よごれたり こわれたり すると  
みんなが 見ることが できなくなるからです。



と つか  
メモを 取るときは えんぴつを 使います。

ペンの インク、シャープペンの しんで  
さくひん  
作品を きずつけてしまうことが あるからです。



さくひん しゃしん  
作品の 写真を とることができます。

 この マークが ある さくひん  
作品は とれません。

つか  
フラッシュは 使えません。



どうが  
動画は とれません。

てんじ み  
展示を 見ます



がいこく いく ため の せん ぼう (遣唐使船) の ぼんがう  
外国に 行くための 船(遣唐使船)の 模型



ほかに なら べられていた うま の はにわ  
お墓に 並べられていた 馬の はにわ



がいこく ひと にんき だつた きれい な つぼ  
外国の人に 人気だった きれいな つぼ

てんじしつ ひろ  
展示室は とても 広いです。

てんじしつ はい みぎ み  
展示室に 入って 右から 見ていくと

ふる じだい み  
古い 時代から 見る ことができます。

むかし ひと つか どうぐ ほかに なら  
昔の人が 使っていた 道具や お墓に 並べていたもの、

がいこく ひと こうりゅう  
外国の人と 交流していたことが わかるものがあります。

いっしょに き ひと き さくひん はな  
いっしょに 来た人と 気になる 作品について 話したり

どこが す おし  
どこが 好きか 教えあつたりします。

日本と、アジアやヨーロッパの交流の歴史を  
大きく5つの時代（テーマ）に分けて展示しています。



展示している作品は、毎週少しずつ変わっています。

文化交流展示室

さわったり においを かいだり  
できます



「遣唐使が 運んだもの」という 部屋に 入ると  
まるで 船の上に いるような 感じがします。

日本から 唐（今の中国）に 運んだものと  
唐から 日本に 持って帰ってきたものが  
おいてあります。 本物 そっくりです。

お香や スパイスを さわったり  
においを かいだりすることが できます。

17

H室「遣唐使とシルクロード」にある部屋です。  
7世紀から12世紀の作品を展示している3テーマに  
あります。  
他の展示室に比べて明るいです。



文化交流展示室

## つかれたら <sup>やす</sup> 休みます



<sup>かい</sup> <sup>てんじしつ</sup> <sup>なか</sup> <sup>きゆう</sup> <sup>じよ</sup>  
4階 展示室の 中にある 休けい所

きゆう-はくの <sup>なか</sup> 中には いすが たくさん おいてあります。  
つかれたら いすに すわって <sup>やす</sup> 休みます。

<sup>かい</sup> <sup>てんじしつ</sup> <sup>なか</sup>  
4階の 展示室の 中には  
<sup>そと</sup> <sup>けしき</sup> <sup>み</sup> <sup>きゆう</sup> <sup>じよ</sup>  
外の 景色が 見える 休けい所も あります。

展示室の外にも、中にも椅子があります。

静かに休める場所は、「あんしんマップ」に載っています。

人がいない静かな部屋で休みたいときは、救護室を使うことができます。  
使うときは、青いストラップのスタッフに言ってください。

きも たか  
気持ちが 高ぶったら  
あんしんルームに 入ります



でいりぐち  
出入口



へや つき  
部屋「月」



へや はな  
部屋「花」



へや ゆき びだり まちあしつ みぞ  
部屋「雪」(左)、待合室(右)



イヤーマフ、リラックスできるグッズ

ふあん  
不安になったり、つかれたり、気持ちが 高ぶったり  
パニックに になったら

あんしんルームに 入って 気持ちを 落ち着かせます。

あんしんルームは 1階に あります。

へや  
部屋の ドアが 開いていたら 使えます。

へや  
部屋の 明るさを 変えることができます。

イヤーマフの 貸し出しも あります。

19

1階あじっぱの横にあります。

同伴者が待機できるイスもあります。

イスは個室に持って行って使うこともできます。



あんしんルーム

イヤーマフの他、リラックスできるグッズもあります。

中で食べることはできません。

部屋を出るときは、ドアを開けたままにしてください。

## のどが かわいたら



1階と 3階に ある 冷水器



4階に ある 冷水器

冷水器が ある ところで 水を 飲みます。

冷水器は どの階にも あります。

コップは 1階と 3階の 冷水器の 横に あります。

飲み終わったら 横に ある ゴミ箱に すてます。

持ってきた の 飲みものも 冷水器の 近くの いすに  
すわって 飲むことが できます。

冷水器の場所は、「あんしんマップ」に載っています。

4階の冷水器は、展示室の中の休憩所にあります。

自動販売機は博物館の外にあります。

ただし、ペットボトルを館内に持って入る時はカバンなどに入れてください。

ほか 他にも いろいろ 場所が あります



とくべつてん  
特別展



ミュージアムショップ



カフェ

みじか きかん てんじ  
短い 期間だけの 展示も あります。

とくべつてん  
特別展と いいます。

きねん みやげ か  
記念に お土産などを 買いたいときは

ミュージアムショップに いきます。

ごはんを た べたり お茶を ちや の  
飲んだりすることが できる

レストランや カフェが あります。

ひと  
人が たくさん いることが あります。

特別展の情報



開館時間

休館日



ミュージアム  
ショップ

\*お香のにおいがします。



レストラン・カフェ  
営業時間やメニュー



たっぷり <sup>たの</sup>楽しんだら <sup>かえ</sup>帰ります



でいりぐち  
出入口

あずけておいた カバンなどが あれば <sup>と</sup>取りに <sup>い</sup>行きます。

コインロッカーでは 100円玉も <sup>えんだま</sup>わすれずに <sup>と</sup>取ります。

<sup>でいりぐち</sup>出入口から <sup>そと</sup>外に <sup>で</sup>出ます。

かさも わすれずに <sup>も</sup>持って <sup>かえ</sup>帰ります。

また きゅうはくに <sup>く</sup>来るのが <sup>たの</sup>楽しみです。

## その他の施設

(同伴者向けにのみ記載)



救護室

気分が悪くなったり、静かな場所で休んだりしたいときに使うことができます。各フロアにありますので、使うときは、青いストラップのスタッフに言ってください。

※ 3階は特別展開催中のみ使うことができます。



ミュージアムホール

講演会やワークショップなどのイベントをする広い部屋です。混雑していることがあります。イベントがないときは、閉まっています。



授乳室

女性は自由に使うことができます。男性が使うときは、青いストラップのスタッフに言ってください。女性が中で授乳していることがあるからです。



研修室

机と椅子の部屋、畳の部屋があります。講演会や休憩などに使うことができます。館内で食べたり、飲んだりできる場所です。事前に予約が必要です。有料です。



ボランティアカウンター

1階のあじっばの前にあります。ボランティアスタッフが博物館の施設や展示室を案内します。

問い合わせ先：  
九州国立博物館 交流課  
電話：092-929-3289  
FAX：092-929-3980



ボランティア



レストハウス

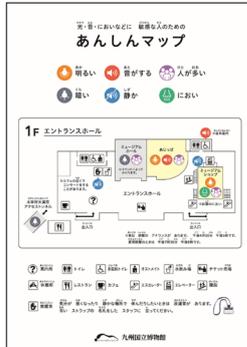
博物館の外にあります。飲食できるテーブルと椅子の他、自動販売機、トイレ、オストメイト対応の多目的トイレ、補助犬トイレもあります。

## ● あんしんマップ

くら 暗いところや おと 音がする ところなどが か 書いてある

「あんしんマップ」が あります。

このガイドと いっしょに つか 使うと もっと あんしん 安心です。



あんしんマップ

## ● わからないことは…

わからないことが あるときは、 きゅうしゅうこくりつはくぶつかん 九州国立博物館に

れんらく 連絡します。

きゅうしゅうこくりつはくぶつかん  
九州国立博物館

じゅうしょ 住所 〒818 - 0118

ふくおかけん だ さい ふ し い し ざ か  
福岡県太宰府市石坂4-7-2

でんわ 電話 (ハローダイヤル) 050-5542-8600

ホームページ <http://www.kyuhaku.jp>



ホームページ

ご意見・ご感想は、ホームページから送ることができます。  
皆様のご意見を参考に、よりわかりやすいガイドにしていきます。



九州国立博物館 あんしんガイド 同伴者向け

企画・編集：九州国立博物館 企画課 教育普及

発行：九州国立博物館

協力：福岡市立発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター）

発行日：初版 2024年6月20日、二版 2024年9月6日 三版 2025年5月23日

このガイドは九州国立博物館賛助会費で作成されました。